

2020『進路資料』ができました。

遺愛進路指導部から2020『進路資料』が発行されました。

今年の『進路資料』には、遺愛から京都大学経済学部、札幌医科大学医学部医学科、東北大学農学部、北大文学部などに今年現役合格した先輩の合格体験記が載っています。教科別勉強法などかなり詳しく書かれていて、とても参考になります。函館では遺愛生だけが受講料無料の駿台サテネットをうまく利用したことや日曜日午後も含めて図書室・自習室を毎日利用した経験が書かれています。毎朝・毎日勉強し続けていると、自然とお互いに支え合える仲間ができるようです。

「一緒に頑張って勉強して、共に合格しよう！！」という意識が高まった年は現役合格者がたくさん出る年になります。京都大学に進学したNさんは「私は高1の頃から遺愛の図書室に通い続け、高1の夏休みとかも1日8時間位は勉強していました。長期の休みには何も予定がない週は『1日10時間勉強しなければ寝てはいけない週』を定めたりしました。」と書いていました。

でも、注意したいのは、保護者に「遺愛の自習室に行きなさい！！」と言われたから仕方なく来るというなら絶対に伸びないということです。自分で目標を定めて、それを実現するために主体的に自らの意志で毎日来るのなら、必ず目標は実現します。

看護学校合格者の体験記には、遺愛の先生方（特に非常勤の先生）の支えが大きいと感じさせられます。公募推薦入試でも、先生方の指導を信じて、とことんついていくのなら必ず合格しています。ぜひ、後輩の皆さんが参考にしていただければと願っています。

2020年6月6日(土)

